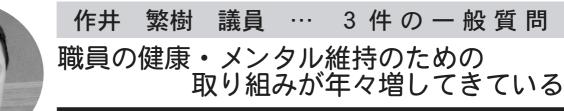
----No. 169----んとちの議会----13



町長:日頃から職場内の風通しをよくするよう心掛ける

作井 由とした休職者数 は。	日。 7 3 日、 平成24 年で 8 7 3 日、 平成24 年で 8 7 8	平成26年が9・5日。 平成25年が8・5日、 町 平成24年が8・5日、 6	は。	 、間、24 ・ ・<	町 時間、平成25年度 平成24年度10・2	む。 %、 約7 · 1 %、 平成 2 5 (作井) 総率は。 (作井) 総率は。 (作井) 総率は。 (作井) 総率は。 (作井) (学本は、) (学本) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注
え、責任を持って的確に。る機関。答弁は準備を整める機関。答弁は準備を整める思を決定すした。	作井 議会答弁 議会答弁 (法の) (法の) (法の) (法の) (法の) (法の) (法の) (法の)	ていない、ストレ	長 評価項目には入っ るのか。 るのか。	作 た の し く 新 年 度 から 始 ま の 大 事 評 価 の 対 に く 新 年 度 から ら は 評 価 の 対 に に 新 の う は 評 価 の 対 、 有 休 取 得 は 評 価 の 対 、 の 対 、 の ち 、 う に 部 価 の 対 、 の ち に 、 の ら 始 ま 、 の ま 、 の ま 、 の ま 、 の ま 、 の ち に 部 価 の ら が ら ら ら が ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら	教育 休職ともゼロ、平成25年度休暇・ 北政25年度休暇1名、休職 ともゼロ。 平成26年度休暇・	ロ26 一26 一26 一 一 26 一 4 1 4 24 24 25 1 4 1 4 25 1 1 1 25 1 1 25 1 1 25 1 25 1 25 1 25 1 25 1 25 25 25 25 25 25 25 25 25 25
町 かりと答弁する。	は」なのか。 「ご破算で願いまして 「ご破算で願いまして	ある。 ある。 し 1 回 日 の 客 弁 が 基 れ る に は、 変 わ る こ と も ま 項 と の 判 断 の 、 変 わ る こ と も 、 数 つ に 、 変 わ る こ と も 、 数 の 一 で 検 一 で 検 一 で 、 参 事 項 と の 判 断 の の 一 で 検 一 で 参 一 で 参 事 項 と の 判 断 の 一 で 検 一 で 参 一 で 参 一 で 参 一 で 参 一 で 参 一 で 参 一 で 参 一 で も 一 で う で 参 一 で 参 一 で 参 一 で 参 一 で 参 一 で 参 一 で 参 一 で 参 一 で か う で う で 参 つ 一 で 検 の 一 で 検 の 一 で 検 の 一 で 検 の 一 で 検 の 一 で 検 の 一 で 検 の 一 で 検 の 一 で や た し に は 、 で 一 で か う の 一 で か し し し に し て 、 変 わ の の 一 で か し し し つ で か の 一 で か し つ し つ で か の 一 で か う の う の 一 で う つ 一 で か う の つ つ つ し つ し つ つ ろ つ し つ し つ し つ つ 一 の つ つ し つ つ こ つ つ 一 つ つ つ つ つ つ ろ つ つ つ し つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ	作用 答 弁、再 答 弁、	町 書の整理と担当課 した答弁	作井 町長と担当課の合 は。 の答弁書が。	作井 作井 第 町 一般質問の場合は、 一般質問の場合は、 勤 1 当課にて答弁原 (物) (物) (物) (物) (物) (物) (物) (物)
作井 有効だが、進捗状況は。	容に の行 が な 精 ン 坐	・ 課長が招集する定 備中。	あった反省から、PDC 町 管理の現状は、	にする。 にする。	作井 病則に反するのでは。 本筋は変わらない 本筋は変わらない	
の 取 しっかりと取り組 の 中で	作 ま、統括課長も置 がない、再任用者も今ま かない、再任用者も今ま	切。 切。 切。 していただくことが適 していただくことが適	町 配置より、他の職きでは。	作井 再任用者を町長直 い。 れ い。 た 北 進 ・ 進 渉	事務全般を担っており、 担い、総務課は内部管理 施策の総合調整を 要では、	町 制度を活用し、国 新望者が現れなかった。 新望者が現れなかった。 「総括課長」が必